

## 2023(令和5)年度事業報告(案)

### 1 支部総会・講演会の開催

2023年5月1日(月)、長野市のホテル国際21南館2階芙蓉の間において、令和5年度砂防学会信越支部 総会・講演会を開催した。総会は15時からオンラインを含め31名の出席で実施され、信越支部 平松支部長の挨拶ののち、「役員の変更等」、「令和4年度事業報告(案)」、「令和5年度事業計画(案)」について審議され、いずれの議案も満場一致で承認された。

総会に続き、15時50分から講演会を開催した。信州大学農学部 堤大三 教授を講師として、「火山地域で発生する土砂移動現象の予測」と題して、融雪型火山泥流の到達範囲や到達時刻予測の精度向上のための融雪挙動の解明に向けた研究とその成果についての講演が行われた。会場からは雪質が融雪に与える影響についての質問や、社会実装に関するコメントが寄せられ、活発な質疑応答が行われた。

### 2 砂防・急傾斜管理技術者一次試験(長野会場)

2023年6月24日(土)、砂防・急傾斜管理技術者試験(一次試験)を長野会場(長野市生涯学習センター3階 第5学習室)において実施した。当日は申し込みのあった8名全員が受験した。試験の実施には堤支部長・小野監事・山田委員があたった。

### 3 現地見学会・検討会

令和5年度は9月に地すべり学会の研究発表会および現地見学会が岐阜県高山市で開催され、地すべり学会中部支部を中心に準備・運営がなされた。同支部については支部長はじめ砂防学会信越支部会員である方も多く、それぞれの会員の負担についても配慮し、砂防学会信越支部では令和5年度の現地見学会・検討会ならびに必要なに応じて実施するとしていた砂防講習会の開催を見送った。

### 4 砂防就職説明会の開催

日時：2023年10月18日(水)

会場：富山県立大学工学部中央棟6階 N605 およびオンライン

講師：国土交通省 水管理・国土保全局 砂防部 砂防計画課 渡邊輝嗣 様

富山県 土木部 砂防課 津田直樹 様

日本工営 新潟支店 北陸事務所 佐志啓未 様

幹事：古谷元教授(富山県立大学)

参加：19名

富山県立大学 10名（M1 4名，B3 6名） 対面 10名  
信州大学 6名（B4 2名，B3 4名） 対面 1名，web5名  
新潟大学 3名（M1 1名，B3 2名） web3名  
その他，教員3名 および 富山県土木部砂防課長

#### 【参加者の感想】

- ・公務員の業務に関してより深く知ることができた
- ・国と県との違いや，もともとイメージした職務のほかに，違う形の内容もあることが知れた
- ・民間の業務で様々な新技術を使っている事や単なる調査業ではない事に驚きと感銘をうけた
- ・国，県，民間，各視点からの話を聞くことができ，進路に関して参考になった

できるだけ多くの学生が参加できるように，参加大学と砂防学会事業部会との間で早めに説明会のスケジュールを調整するとともに，遠隔地からも参加しやすいようにオンラインを併用して開催した。

## 5 支部運営委員会

2024年（令和6年）1月24日，長野市の生涯学習センター 第5学習室およびオンライン併用にて開催した。支部総会に付議するべき事項として，令和5年度事業報告・決算各案，支部運営規定の改定案，ならびに令和6年度の事業計画（案）及び予算（案），役員（案）の推薦等の議案について総会に付すべき案件として審議され，予算案の総額以外について承認された。予算案については総会までに適切な額に修正し，提案することとされた。また，令和6年能登半島地震災害に係る土砂災害緊急調査及び令和7年度砂防学会定時総会及び研究発表会の長野開催について報告がなされた。

## 6 土砂災害緊急対応の実施に関する事項

### （1）災害報告の学会誌掲載

2022年8月の大雨により新潟県村上市等で発生した土砂災害を受けて実施した，砂防学会特別災害対応委員会の現地調査の報告が砂防学会誌2023年7月号に掲載された。

権田豊・宮田秀介・澤陽之・福山泰治郎・千葉幹・山田拓・佐野泰志・高橋裕史・上原信司・鈴木和弘・小野和行・北原哲郎・吉柳岳志・平松晋也（2023）：2022（令和4）年8月の大雨により新潟県村上市・関川村で発生した土砂災害，砂防学会誌，Vol.76, No.2, p.37-48

### （2）令和6年能登地震による土砂災害への対応

令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震による災害対応について，砂防学会では本地震による土石流，崩壊，地すべり，河道閉塞の甚大さ・重大性等を総合的に判断し，広域に影響を及ぼす極めて重大な災害に対応する土砂災害緊急調査A委員会を設置することを1月18日決定した。

信越支部では1月12日，信越支部役員を参集し，能登半島地震災害の現状認識と緊急調

## 議案 1

査に関する考えかたの共有を行い、本部とともに今後の方針等について支部としても検討していくことを確認した。

土砂災害緊急調査について、砂防学会は(公社)日本地すべり学会と合同で2月11日(日)および12日(月)に先遣調査隊による現地調査を実施した。調査団は大野砂防学会長を団長に2班集体8名で編成され、このうち信越支部では堤支部長と古谷副支部長が副団長として、澤陽之、三池力両氏の2名が隊員として、計4名が参加し、石川県輪島市ノ瀬地区、珠洲市町野川ほかの地区で調査を実施した。

砂防学会は先遣調査隊の調査結果を取りまとめ緊急提言を3月6日(水)に公表するとともに大野会長から草野国土交通省砂防部長に提言内容を説明した。また3月7日(木)に緊急調査報告会を開催し、堤支部長・古谷副支部長が先遣隊の緊急調査について、権田副支部長が能登半島の崩壊に関する地形解析について報告した。また、堤支部長は3月25日(月)開催された(一社)防災学術連携会議の「令和6年能登半島地震・3ヶ月報告会」で緊急調査結果について報告された。

砂防学会では引き続き調査団を編成し、調査を進めていくとしており、信越支部からは堤支部長が団長として参加するとともに、10名の会員が参加予定である。

## 2023(令和5)年度会計報告(案)

## 1 収入の部

信越支部では、事業実施に必要な費用については事業ごとに費用の支出を本部に求めており、支部として計上すべき収入はなく、会計上の収入の項を設けていない。

## 2 支出の部

日付	費目	金額	備考
2023/5/1	会場費(総会・講演会),音響照明設備料,プロジェクター,スクリーン,映像ケーブルの料金+消費税	145,200	長野市のホテル国際 21 南館 2 階芙蓉の間
2023/6/24	会場費(砂防・急傾斜管理技術者一次試験), 冷暖房料	12,970	(長野市生涯学習センター3階 第5学習室)
2024/1/24	会場費(運営委員会)	2,660	(長野市生涯学習センター3階 第5学習室)
計		160,830	

# 監事監査報告書

(公社) 砂防学会信越支部  
支部長 堤 大三 殿

令和 6 年 4 月 9 日

(公社) 砂防学会信越支部

監事 林 真 一 郎



(公社) 砂防学会信越支部 運営規程 第3章第8条(3)に基づき、支部会計および事業実施に関する報告を監査しましたので、以下の通り報告します。

## 1. 監査方法

運営委員から2023(令和5)年度に(公社)砂防学会信越支部で実施した事業の報告を聴取し、さらに根拠書類を確認することにより、監査を実施しました。

## 2. 監査の結果

(公社) 砂防学会信越支部の会計および事業の実施は適切に行われたものと認めます。

# 監事監査報告書

(公社) 砂防学会信越支部  
支部長 堤 大三 殿

2024 年 4 月 10 日

(公社) 砂防学会信越支部

監事

小野 和行



(公社) 砂防学会信越支部 運営規程 第3章第8条(3)に基づき、支部会計および事業実施に関する報告を監査しましたので、以下の通り報告します。

## 1. 監査方法

運営委員から2023(令和5)年度に(公社)砂防学会信越支部で実施した事業の報告を聴取し、さらに根拠書類を確認することにより、監査を実施しました。

## 2. 監査の結果

(公社) 砂防学会信越支部の会計および事業の実施は適切に行われたものと認めます。

## 2024(令和6)年度事業計画(案)

### 1 支部総会・講演会の開催

令和6年5月2日(木)、支部総会ならびに講演会を開催する。

### 2 砂防・急傾斜管理技術者一次試験(長野会場)の運営補助

- ・令和6年度の長野会場における一次試験は6月22日(土)に実施する。
- ・次世代を担う砂防・急傾斜技術者の育成に資することから、支部においても受験者の掘り起こしに努める。
- ・信越支部では長野会場(長野市生涯学習センター第5学習室)の試験実施に係る運営補助を担う。

### 3 現地見学会・検討会

10月~11月ごろ、計画する。

また、必要に応じて砂防講習会の開催を計画する。

### 4 砂防就職説明会の開催

多くの学生が参加できるように、参加大学と砂防学会事業部会との間で早めに説明会のスケジュールを調整するとともに、オンラインを併用して遠隔地からも参加しやすい方式とし、開催する。2024年度幹事校は新潟大学(権田先生)の予定である。

### 5 支部運営委員会

令和7年1月頃、開催する。

### 6 土砂災害緊急対応の実施に関する事項

#### (1) 令和6年能登地震による土砂災害への対応

令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震による土砂災害に対して、信越支部では本部が設置した土砂災害緊急調査A委員会での検討状況を踏まえ、地元支部として現地調査等の対応にあたる。

#### (2) 令和6年度発生災害に対する緊急調査等

令和6年度発生災害において、信越支部では災害の緊急度、社会的影響度に鑑み、運営委員会において状況の把握に努めるとともに、砂防学会特別災害対応委員会と緊密に連携し緊急調査、報告書の取りまとめ等、必要な対応をおこなう。

(公社) 砂防学会信越支部  
2024(令和6年)年5月2日(木)、令和5年度運営委員会

## 2024(令和6)年度予算(案)

### 1 収入の部

信越支部では、事業実施に必要な費用については事業ごとに費用の支出を本部に求めており、支部として計上すべき収入はなく、会計上の収入の項を設けていない。

### 2 支出の部

費目	金額	備考
総会経費	90,000	会場費、資料等印刷費、郵送費、 事務用品費
砂防・急傾斜管理技術者一次試験運営補助費	6,000	会場費
運営委員会経費	5,000	会場費
現地検討会	154,000	バス等借り上げ、講師謝金・旅費
災害調査旅費	45,000	
計	300,000	



(公社) 砂防学会信越支部

2024(令和6年)年5月2日(木) 令和6年度総会

## 運営規程の改定（顧問及び事務局の設置）（案）

令和6年3月26日公益社団法人砂防学会理事会において、支部組織への顧問の設置に関する規程改定が承認されたことから、信越支部運営規程の支部役員に顧問を追加する。また、運営規定に事務局を明記し、事務局員の設置を可能とする。

## 〔改定案 1 顧問〕

下線部を追記，修正する。

## 第2章 支部役員

(支部役員)

第2条 信越支部に、学会規則の定める支部長、副支部長、支部監事、運営委員を置く（以下「役員」という）。また、必要に応じて顧問を置くことができる。

2. 役員の設定は下記のとおりとする。

支部長 1名

顧問 若干名

副支部長 2～5名

支部監事 2名

運営委員 10～40名

3. 副支部長は代行順位を付けるものとする。第1順位の副支部長は、支部長に事故あるときにその職務を代行する。

(職務・報酬)

第3条 顧問は、支部長からの要請により支部の運営等に助言する。2. 運営委員は、支部の運営を協議する。3. 役員は無給とする。

(選任)

第4条 支部長、副支部長、支部監事は、運営委員会は支部に所属する正会員のうちから推薦し、砂防学会長名で委嘱する。なお、正会員でない者でも、協力会員として副支部長、支部監事を砂防学会長名で委嘱することができる。

2. 顧問は支部長が必要に応じて推薦し、砂防学会長名で委嘱する。

3. 運営委員は、運営委員会の推薦に基づき支部に所属する正会員のうちから支部長名で委嘱する。なお、正会員でない者でも、協力会員として運営委員を支部長名で委嘱することができる。

〔改定案 2 事務局〕  
次の条項を追加する。

第 6 章 補則

第 1 6 条 この支部の事務を処理するため事務局を設け、事務局員を置くことができる。

2. 事務局員の選任及び解任は、支部総会の決議を要する。
3. 事務局員は、支部長が任免する。

## 議案 6

(公社) 砂防学会信越支部  
2024(令和6年)年5月2日(木) 令和6年度総会

### 役員のおすすめ

2024年(令和6年)度 役員について

(公社) 砂防学会信越支部運営規程第2章支部役員, 第4条(選任) 2. に基づき  
別紙名簿案のとおり推薦する。

# 議案 6

## 参考

砂防学会信越支部 2023（令和5）年度役員名簿

2024/1/23

	役職	氏名	所属	役職
	1 支部長	堤 大三	信州大学農学部 農学生命科学科	教授
	2 副支部長	権田 豊	新潟大学農学部 農学科	教授
	3 副支部長	吉村 元吾	長野県建設部 砂防課	参事・砂防課長
	4 副支部長	古谷 元	富山県立大学工学部 環境・社会基盤工学科	教授
	5 監事	小野 和行	日本総合建設株式会社	技術顧問 飯田営業所長
	6 監事	林 真一郎	富山県土木部	参事・砂防課長
	7 運営委員	市川 東大	国土交通省 中部地方整備局 河川部	建設専門官
	8 運営委員	戸田 満	国土交通省北陸地方整備局 河川部	建設専門官
	9 運営委員	松本 直樹	国土交通省北陸地方整備局 湯沢砂防事務所	所長
	10 運営委員	桑島 正樹	国土交通省北陸地方整備局 金沢河川国道事務所	所長
**	11 運営委員	湯原 麻子	国土交通省北陸地方整備局 黒部河川事務所	所長
	12 運営委員	石田 孝司	国土交通省北陸地方整備局 立山砂防事務所	所長
	13 運営委員	石尾 浩市	国土交通省北陸地方整備局 松本砂防事務所	所長
	14 運営委員	吉田 桂治	国土交通省中部地方整備局 天竜川上流河川事務所	所長
	15 運営委員	野澤 智明	農林水産省 林野庁 関東森林管理局 計画保全部 治山課	課長
	16 運営委員	藤原 司	農林水産省 林野庁 中部森林管理局 計画保全部 治山課	課長
	17 運営委員	吉柳 岳志	国立研究開発法人 土木研究所 雪崩・地すべり研究センター	センター長
	18 運営委員	西道 正浩	石川県土木部 砂防課	課長
	19 運営委員	鍋倉 章宏	新潟県土木部 砂防課	課長
	20 運営委員	細川 容宏	吉川建設株式会社	施工統括部顧問
	21 運営委員	本白 茂	朝日航洋株式会社 東日本空情支社	理事
	22 運営委員	澤 陽之	アジア航測株式会社 中部国土保全コンサルタント技術部	部長
	23 運営委員	北原 哲郎	応用地質株式会社 流域・砂防事業部	技術長
	24 運営委員	上原 信司	株式会社キタック	常務取締役・販促管理部門副統括
	25 運営委員	神野 忠広	共和コンクリート工業株式会社	常務取締役
	26 運営委員	鈴木 和弘	株式会社興和	取締役技術部長
	27 運営委員	高島 誠	国土防災技術株式会社 関東支社	営業部長
	28 運営委員	藤井 雄次	国土防災技術株式会社 長野支店	支店長
	29 運営委員	山田 泰弘	国土防災技術株式会社 関東支社および東京支店	関東支社技術部長兼 東京支店長
	30 運営委員	川田 孝信	ダイチ株式会社	顧問
*	31 運営委員	清野 耕史	大日本タイヤコンサルタント株式会社 技術本部国土保全 統括部	砂防担当部長
*	32 運営委員	飯沼 達夫	日本工営株式会社 東京支店	理事 支店長代理
	33 運営委員	三池 力	日本工営株式会社 北陸事務所	所長
	34 運営委員	高橋 裕史	一般社団法人 北陸地域づくり協会 長野支所・松本支所	支所長
	35 運営委員	長井 義樹	応用地質株式会社	理事・技師長
*	36 運営委員	宮田 秀介	京都大学大学院農学研究科	准教授
	37 運営委員	福山 泰治郎	信州大学農学部 農学生命科学科	助教

（令和5年度総会以降の異動等：\*所属等変更、\*\*異動にともなう交代、\*\*\*新規委嘱）

# 議案 6

砂防学会信越支部 2024（令和6）年度役員推薦名簿（案）

2024/5/2

	役職	氏名	所属	役職	
	1	支部長	堤 大三	信州大学農学部 農学生命科学科	教授
***	2	顧問	平松 晋也	信州大学	特任教授
	3	副支部長	権田 豊	新潟大学農学部 農学科	教授
	4	副支部長	吉村 元吾	長野県建設部 砂防課	参事・砂防課長
	5	副支部長	古谷 元	富山県立大学工学部 環境・社会基盤工学科	教授
	6	監事	小野 和行	日本綜合建設株式会社	技術顧問 安曇野営業所長
	7	監事	林 真一郎	富山県土木部	参事・砂防課長
**	8	運営委員	大西 竜太	国土交通省 中部地方整備局 河川部河川計画課	課長補佐
**	9	運営委員	梅田 ハルミ	国土交通省北陸地方整備局 河川部	建設専門官
	10	運営委員	松本 直樹	国土交通省北陸地方整備局 湯沢砂防事務所	所長
**	11	運営委員	五十川 泰史	国土交通省北陸地方整備局 金沢河川国道事務所	所長
	12	運営委員	湯原 麻子	国土交通省北陸地方整備局 黒部河川事務所	所長
	13	運営委員	石田 孝司	国土交通省北陸地方整備局 立山砂防事務所	所長
	14	運営委員	石尾 浩市	国土交通省北陸地方整備局 松本砂防事務所	所長
	15	運営委員	吉田 桂治	国土交通省中部地方整備局 天竜川上流河川事務所	所長
**	16	運営委員	村松 義昭	農林水産省 林野庁 関東森林管理局 計画保全部 治山課	課長
**	17	運営委員	立澤 和実	農林水産省 林野庁 中部森林管理局 計画保全部 治山課	課長
	18	運営委員	吉柳 岳志	国立研究開発法人 土研研究所 雪崩・地すべり研究センター	センター長
**	19	運営委員	田中 尚人	石川県土木部 砂防課	課長
**	20	運営委員	逢坂 康之	新潟県土木部 砂防課	課長
	21	運営委員	細川 容宏	吉川建設株式会社	施工統括部顧問
	22	運営委員	本白 茂	朝日航洋株式会社 東日本空情支社	理事
	23	運営委員	澤 陽之	アジア航測株式会社 中部国土保全コンサルタント技術部	部長
*	24	運営委員	北原 哲郎	応用地質株式会社 防災・インフラ事業部 金沢営業所駐在	技術長
	25	運営委員	上原 信司	株式会社キタック	常務取締役・販促管理部門副統括
	26	運営委員	神野 忠広	共和コンクリート工業株式会社	常務取締役
	27	運営委員	鈴木 和弘	株式会社興和	取締役技術部長
*	28	運営委員	高島 誠	国土防災技術株式会社 本社営業本部公共営業部	次長
	29	運営委員	藤井 雄次	国土防災技術株式会社 長野支店	支店長
	30	運営委員	山田 泰弘	国土防災技術株式会社 関東支社および東京支店	関東支社技術部長兼 東京支店長
***	31	運営委員	福田 光生	ダイチ株式会社	技術顧問
	32	運営委員	清野 耕史	大日本ダイヤコンサルタント株式会社 技術本部国土保全統括部	砂防担当部長
	33	運営委員	飯沼 達夫	日本工営株式会社 東京支店	理事 支店長代理
***	34	運営委員	河合 政岐	日本工営株式会社 北陸事務所	所長
	35	運営委員	高橋 裕史	一般社団法人 北陸地域づくり協会 長野支所・松本支所	支所長
	36	運営委員	長井 義樹	応用地質株式会社	理事・技師長
	37	運営委員	宮田 秀介	京都大学大学院農学研究科	准教授
	38	運営委員	福山 泰治郎	信州大学農学部 農学生命科学科	助教

（異動等：\*所属等変更，\*\*異動にともなう交代，\*\*\*新規委嘱）

## 2025 (令和7年) 年度 (公社) 砂防学会研究発表会について

## 1 概要

例年5月開催されている「研究発表会」について、2024年度は和歌山大会が実施される。今般、和歌山大会実行委員長から信越支部長へ2025年度の次期大会を信越支部での開催を求められ、支部運営委員会に報告し、開催について承認された。

現在開催に向けて準備に着手したところである。

## 2 経緯

## (1) 年度別研究発表会開催県 (※: 信越支部開催)

年度	開催県 (支部)	年度	開催県
平成22年度	長野 ※	29	奈良 (関西)
23	神奈川 (関東)	30	鳥取 (中四国)
24	高知 (中四国)	令和元年度	岩手 (東北)
25	静岡 (東海)	2	愛知 (中止) (東海)
26	新潟 ※	3	オンライン
27	栃木 (関東)	4	宮崎 (HB) (九州)
28	富山 ※	5	北海道 (HB) (北海道)

## (2) コロナ前の研究発表会参加者数

年 度	開催県	大会参加人数 (うち意見交換会)
28	富山 ※	1,087人 (793人)
29	奈良	1,036人 (696人)
30	鳥取	1,023人 (738人)
5	北海道	約500人

## 3 和歌山大会について

- 期 日 令和6年5月15日 (水) ~17日 (金)  
開催方法 現地開催 (国際交流会のみオンライン併用)  
研究発表会 3会場分散開催  
和歌山県民文化会館 開閉会式等 (328席)、研究発表3室 (60~120席)  
和歌山県自治会館 研究発表1室 (90席)  
和歌山県日赤会館 研究発表3室 (54席ずつ)  
意見交換会 ダイワロイネットホテル和歌山 (550席、最大600名可能)  
現地研修会 ①直轄砂防事業: 那智川、②世界遺産保全: 高野山  
特別講演 紀伊半島大水害体験紙芝居